



Vol.156
令和5年度6月号

バス・バスターズ 今年度もスタートしました。

20年目のバス・バスターズが始まりました

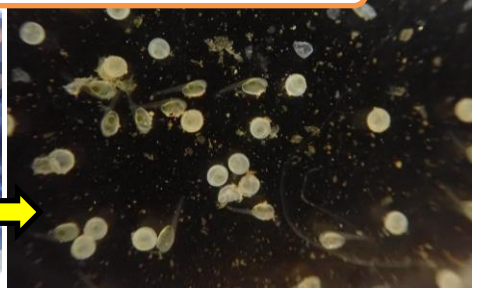
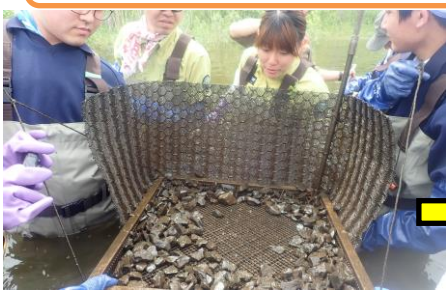
開会式の様子



初回の5月21日には42名が参加、地元の高校生も加わって賑やかな活動になりました。

このバス・バスターズは、沼の希少な淡水魚「ゼニタナゴ」の復元を目指して始まりました。当初は、数百万尾のブラックバスの稚魚を腕が疲れるまで追いかけていましたが、活動が続けるたびにその数が減り、20年経った今、手の中にゼニタナゴが戻ってきました。長い時間と多くの方々の協力が、失われた自然の回復をもたらしています。

下の写真は、ブラックバスの卵が産み付けられた人工産卵床(左)と卵の拡大写真(右)です。回収後に一部ふ化してます。



ステッカー & クリアファイル作りました



マグネット式ステッカー(左)は、伊豆沼・内沼を愛し、オオクチバスなどの外来魚の放出(リリース)をやめて貰いたいという想いを込めて作成しました。

皆様には、伊豆沼・内沼の応援団として、このマグネットを車などに貼って、PRして貰えたら幸いです。また、合わせてクリアファイル(右)も作成しました。



久里浜中学校のみなさんが伊豆沼で環境学習

横須賀市立久里浜中学校の皆さんが、5月17日に環境学習に訪れました。

ウェーダーを履いて沼の中を歩きながら、定置網に入った魚の観察などを行いました。捕れたナマズやカムルチーに生徒たちは驚き、おそろおそろ触ったりしていました。また、保全している水生植物の苗作りなども体験し、沼で行っている生き物の保全活動について学びました。

普段の生活では、なかなかできないような今回の自然体験。今後、身の回りの生き物や自然に関心を持つきっかけとなれば幸いです。



沼に入り生き物観察



定置網に入っていた魚に驚く生徒達



植栽前の草刈り



草刈り後の植栽

伊豆沼・内沼生き物図鑑 ～カキツバタ～

湿原は開発などにより減少し続けており、そこを住処とする生き物には絶滅が心配されるものも存在します。カキツバタもそのような生き物の一つで、宮城県では絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。伊豆沼・内沼では、幸いなことにまだあちらこちらに群落が残っており、初夏には花が水辺を彩っています。



和歌にも詠まれるなど、かつては身近な存在であったと考えられるカキツバタを後世に残すため、当センターではカキツバタの保全と増殖に努めています。伊豆沼北岸の水生植物園には、伊豆沼・内沼在来のカキツバタが移植され、5月下旬から6月上旬にかけてその花を楽しむことができます。カキツバタの花を通して、伊豆沼・内沼の生き物に親んでいただければ幸いです。

“自然体験講座” 申込受付中 (詳しくは、当財団ホームページ、または館内のチラシを参照)

水辺の生き物採集と観察会

初夏の沼では魚や昆虫が活発に動き回っています。これらの生き物を捕まえて、観察しよう。

第1回 6/24(土) 10:00～13:00

第2回 7/9 (日) 10:00～13:00

参加費: 1人¥1,000



昆虫採集と標本作り

沼のまわりで昆虫を採集し、標本を作成します。夏休みの自由研究にいかがですか。

第3回 7/23(日) 10:00～15:00

第4回 8/5 (土) 10:00～15:00

参加費: 1人¥1,000



伊豆沼漁師体験

いろいろな網を使い、魚を取る漁師になろう。大きな魚と出会えるかもしれません。

第5回 8/26(土) 10:00～13:00

第6回 9/10(日) 10:00～13:00

参加費: 1人¥1,000



〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畑岡敷味17-2
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
指定管理者 (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217
ホームページ: <http://izunuma.org/>
E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp

